

令和4年度  
学校だより



# ふずくの風

鹿児島大学教育学部  
附属小学校

第1号

令和4年4月28日発行

## 附属らしさとは

副校長 池浦 也寸志

令和4年度が始まり、校内には795名の元気な子どもたちの声が響き渡っています。学校に新たな風が吹き、活気が甦ってきました。子どもたちは、新たな学年になり、夢と希望をもって、臨んでいる姿を伺うことができます。



本年度も新型コロナウイルスの影響で、学校生活・行事等においては、多くの制約の中での実施を余儀なくされることでしょうか。しかし、学校教育は、コロナだといって止まっていることはできません。これまで、附属小学校として、培ってきた伝統と歴史は、このような状況でも歩を止めるわけにはいきません。

では、「附属らしさ」とは、どのような学校の姿を言っているのでしょうか。入学時の説明会においては、新しい教育を模索する研究校であるとか、教育実習生を受け入れる学校であるとか説明してきました。しかし、学校の主役は、子どもたちです。子どもたちの立場から「附属らしさ」を説明することは、簡単なようで、これだという説明をしてきた自信がありません。

いい味噌や醤油をつくる昔ながらの蔵元には、「家付き酵母」が棲みついていると言われます。長い年月をかけて、そこに棲みつき、味噌や醤油に、そこでしか再現できないような独特の「風味」を加えるのだそうです。同じ材料、同じ製法で造っても、他の蔵では同じ味が出せないそうです。学校も似たところがあり、毎年、新しい児童が入ってきます。当然、一人ひとりの個性は異なりますが、卒業のころには、同じ学校で生活してきた子どもたちに共通する「らしさ」が宿るものです。6年生の姿をもって、どのような学校の文化が根付いているのかわかるということもこのことだと考えます。



「附属魂」とか「附属の子として」といった言葉は、「附属らしくあろう」といった表れであり、時として迷ったときには、勇希を与えてくれる言葉です。「らしさ」を語る場合、その時々状況によって意味合いは変わるのかもしれませんが、言葉にできない分、所作等には十分、現れているような気がします。校歌の最後の部分、「われらは附属」という歌詞にもそういった誇りや伝統を受け継ぐ気概が感じられます。早急に言葉としての「答え」ではなく、何年たっても色褪せない「らしさ」とは何であるかといった「問い」を続けていくことが大切なのではないのでしょうか。

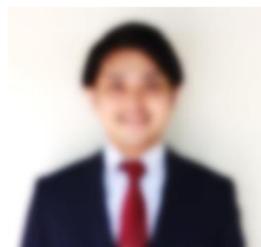
## 附属の新しい風 ～転入職員を紹介～



森永 崇行  
(社会科)



吉海 直  
(算数科)



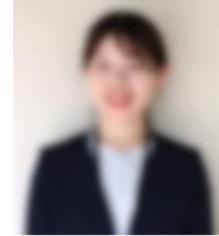
内田 有亮  
(算数科)



鎌迫 一成  
(体育科)



山口 奏良  
(国語科)



赤井 華枝  
(家庭科)



荒木 佑太  
(図画工作科)

## ようこそ附属小学校へ～新任式・始業式、入学式～

4月6日(水)に新任式・始業式が行われました。新任式では、新しく7名の先生方を附属小学校に迎えました。代表児童の新任者を迎えるあいさつでは、附属小の行事や伝統を紹介し、「附属小で共に頑張っていきましょう。」という思いを伝えました。新任者も「附属小に早く慣れ、元気に頑張っていきたい。」と述べました。

また、7日(木)には、入学式が行われ、112名の新入生を迎えました。担任の先生方に連れられ、笑顔で入場する姿がとても印象的でした。6年生の代表児童が、新一年生に向けてお祝いの言葉を贈るとともに、「附属小学校の伝統である『あいさつ』『ボランティア』『トイレスリッパ並べ』と一緒に頑張っていきましょう。」と呼び掛けました。新入生もその言葉を嬉しそうに聞くとともに、やる気に満ち溢れた表情を見せていました。



【入学式でお祝いの言葉を語る6年生児童】

このように、新任の先生方や新入生を迎え、創立145年目の附属小学校を795名でスタートを切ることができました。今年度も、「夢や目標をもち、みがき高め合う附属の子どもたちの育成」を目指して、様々な活動を充実させていきたいと考えます。

### 【5月の主な行事】

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 2日(月) 夏服完全更衣          | 24日(火) 体力テスト          |
| 3日(火) 憲法記念日           | 25日(水) プール掃除          |
| 4日(水) みどりの日           | 26日(木) 体力テスト(予備日)     |
| 5日(木) こどもの日           | 27日(金) 春の一日遠足         |
| 11日(水) PTA総務部会・理事会    | 30日(月) 学級対抗リレー大会(下学年) |
| 14日(土) 「ちからの会」公開前奉仕作業 | 31日(火) 学級対抗リレー大会(高学年) |
| 19日(木) 公開研究会          |                       |



※ 鹿児島市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況によって行事の中止・変更の可能性があります。

# 1年部

やるぞ！できるぞ！  
みんなで きらきらたんけんたい



1年い組 砂野 優樹  
『人に期待しない』  
1年ろ組 榊 将和  
『真つすぐ』  
1年は組 内田 有亮  
『着眼大局, 着手小局』  
『当たり前こそ有難い』

複式I組 吉海 直  
『心を 燃やせ』

音楽 渡邊 健二  
『一期一会』

# 2年部

チャレンジ はっ見  
みんなでぐんぐん2年生



2年い組 辻 美咲  
『一期一会』  
2年ろ組 鎌迫 一成  
『いつでも だれとでも  
なにごとにも楽しむ』  
2年は組 實地 拓也  
『限界突破』

図画工作 齊藤 智弘  
『迷ったらGO!』

栄養教諭 松窪 久美子  
『いつも笑顔で!』

# 3年部

仲間をみとめ 挑戦し続ける  
みんなが笑顔の3年生



3年い組 眞邊 笑子  
『「誰かの笑顔」のために  
生きている』  
3年ろ組 先間 裕哉  
『自分次第 工夫次第  
努力次第』  
3年は組 山口 奏良  
『物事には必ず意味がある』  
3年に組 押領司 裕之  
『正直は一生の宝』

算数・体育 三宅 倅平 『意志あるところに道は開ける』

養護教諭 沖浦 由起 『ありがとう』

書写 中村 由希 『浅い川も深く渡れ』

# 令和4年度 鹿児島大学教育学部附属小学校 職員の紹介

先生方に聞きました！  
Q: 新年度が始まり、夢や目標をもち、その達成に向けて意欲に満ち溢れている先生方。「先生方が日頃、大切にしている言葉や座右の銘は何ですか。」



## 校長室



校長 假屋園 昭彦  
『大切なことは、どれだけ早く進むかよりも、ゆっくりでもいいから、どこまで遠くへ進むかということ』

副校長 池浦 也寸志  
『逡巡の罪』



## 教頭室



教頭 上江洲 洋志  
『どうにかしようと思えば、どうにかなる』

主幹教諭 横山 健一  
『初志貫徹』

## 給食室



## 事務室



## 後援会事務室



図画工作 荒木 佑太 『素直に生きる』

# 4年部

自らひろげる 友とつながる  
笑顔広がる 4年生



4年い組 泊 雄介  
『本物』  
4年ろ組 前下 勝信  
『完全燃焼』  
4年は組 齋藤 祐聖  
『やるときはやる  
楽しむときは楽しむ』  
4年に組 岩田 祐生  
『「風立」よか馬は、風に向かって立つ』

複式II組 森永 崇行  
『置かれた場所で  
咲きなさい』

音楽 内山 斉哉  
『継続は力なり』

# 5年部

共に支え合い 前進する  
ネクストリーダー 5年生



5年い組 福森 一真  
『意志あるところに道は開ける』  
5年ろ組 上崎 博輝  
『昨日から学び, 今日を生き,  
明日へ期待しよう』  
5年は組 上ノ町 亮  
『大切なのは, 自問自答し  
続ける事である』  
5年に組 中原 大士  
『進まざるものは必ず退き,  
退かざる者は必ず進む』

家庭 赤井 華枝  
『あせらず, くさらず, おごらず』

# 6年部

自ら行動 深める絆  
笑顔広げる6年生



6年い組 森山 慎一  
『きばれ(きばいやんせ)』  
6年ろ組 原之園 翔吾  
『笑顔』  
6年は組 橋元 将大  
『やるぞ, やるぞ, やるぞー!』  
6年に組 柏木 康良  
『縁を生かす』  
複式III組 中野 嘉宣  
『感謝』

外国語 金崎 英俊  
『One for all, All for one.』

体育 島雄 智佳子  
『勇気は一瞬, 後悔は一生』

外国語 ピーター 『Everything you can imagine is real.』

## 我が家の家訓, ありますか?

言葉には、自分を奮い立たせてくれる素敵な力があると  
言われます。御家庭でも大切  
にしている言葉があるのでは  
ないでしょうか。